



ティーンズの本棚

2026年 4月 第193号
(月1回発行)
半田市立図書館
tel 0569-23-7171
亀崎図書館
tel 0569-29-5060

今月のテーマ 「学校」



教室に並んだ背表紙 あいざわ さとこ 相沢沙呼／著 集英社 (913.6/74)

陽気にさわぐことが苦手な佐竹あおは、休み時間は図書室で過ごしています。読書が好きで、司書のしおり先生や図書委員の仲間とゆるくつながっているのも気が楽だからです。けれど、ある日の昼休みから「陽キャ」の三崎さんが一人で図書室にやってくるようになって…。「苦手な本だからって開きもしないのはもったいない」というしおり先生の言葉が、揺れるあおの背中を後押ししてくれます。中学校の図書室を舞台にした短編集。

新しく入った本



彼と彼女の穴 織守きょうや／[著]

「恋は落ちずに、落とすもの？」 KADOKAWA より (913.6/34)

高校2年生の有馬慎慈は、帰りの電車でよく一緒になる女の子のことを、どこかで見た顔だと気になっていました。ある日、その女の子から「私のこと覚えてる？」と声をかけられ、二人はつきあうことに。関係が始まると、有馬は不思議な夢を見るようになります。見たことのある女の子が立っていて、足元にはぽっかりと大きな穴があるという夢ですが…。

読書嫌いを覚醒させる至高のブックリスト かくせい しこう

よこみちまこと 横道誠／著 筑摩書房 (T019/3)



「興味のないところは飛ばしても大丈夫！」と、読書嫌いに寄り添い、絵本から哲学書までを幅広く案内しています。各章の終わりには「本日の料理」として本を紹介し、それを気に入った読者には「おかわり」として、さらに魅力的なおすすめの本が待ち受けています。

本の面白さが分からない、文章を読むのが苦手だと思っているあなたの読書欲も高まるかも？！

ちょっと一息

めだまのスポット ふたりでさんぽ

たなかたつや 田中達也／作 福音館書店 (Eあか/メ)



なかよしの二人組のめだまのスポットが、散歩に出かけます。行く先々で、スポットがすぽっと座ると、ケーキやバナナなど身近なものが、犬や大タコなどの生き物に見えてきます。

だまし絵のように、別のものに見えてくる楽しさを味わうことができる絵本です。作者はミニチュア写真家です。

8類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、0類から9類まで、10個のグループに分かれています。8類には、辞典、文法、方言、外国語など、言語に関する本があります。

国語をめぐる冒険 わたなべやすあき 渡部泰明／ほか著 岩波書店 (T810/3)



「国語は冒険だ」と、著者の一人、渡部さんは言います。なぜなら冒険とは、未知の世界や存在と出会うこと。未知と出会い、物事を見つめ直し、深く掘り下げる…といった「人としての成長」を、人は言葉によって果たすからです。この本では、さまざまなものと出会う冒険の旅を通して、国語を学ぶ意味とは何かを探ります。

漢字ハカセ、研究者になる

ささはらひろゆき 笹原宏之／著 岩波書店 (T811/4)



著者が小学5年の時、友達のS君が「蛸(たこ)」という字を書いて見せてくれました。それは自分が記憶していた「蛸(たこ)」ではなかったため、兄の部屋にあった「漢和辞典」をはじめて開き、どちらも正しいことを知ります。やがて漢字への興味が強くわき始め、現在では大学の教員をして漢字の研究を続けています。好きなことを仕事にしている著者から、中高生の皆さんへのメッセージが込められた1冊です。



半田市立図書館キャラクター
ブックんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。(インターネット登録が必要です) 詳しくはホームページをご覧ください。 →

